

春日部市教育センター再整備基本計画の概要

背景

- 教育センターは、次の点から再整備が必要となっています。
- ・ 建築後35年が経過し、老朽化が進み、大規模改修（長寿命化）が必要なこと。
 - ・ 視聴覚センターは、市民ニーズの多様化、デジタル技術の高度化などの社会の変化に応じた機器や設備の見直しが必要なこと。
 - ・ 令和6年1月に教育委員会事務局が市庁舎へ移転したこと。
 - ・ 公共施設マネジメントの観点から周辺公共施設との集約化等も含めた検討を進めること。
 - ・ 春日部市中心市街地まちづくり計画と連携して、中心市街地の賑わい創出に寄与する施設としての検討が必要なこと。

市民ニーズ

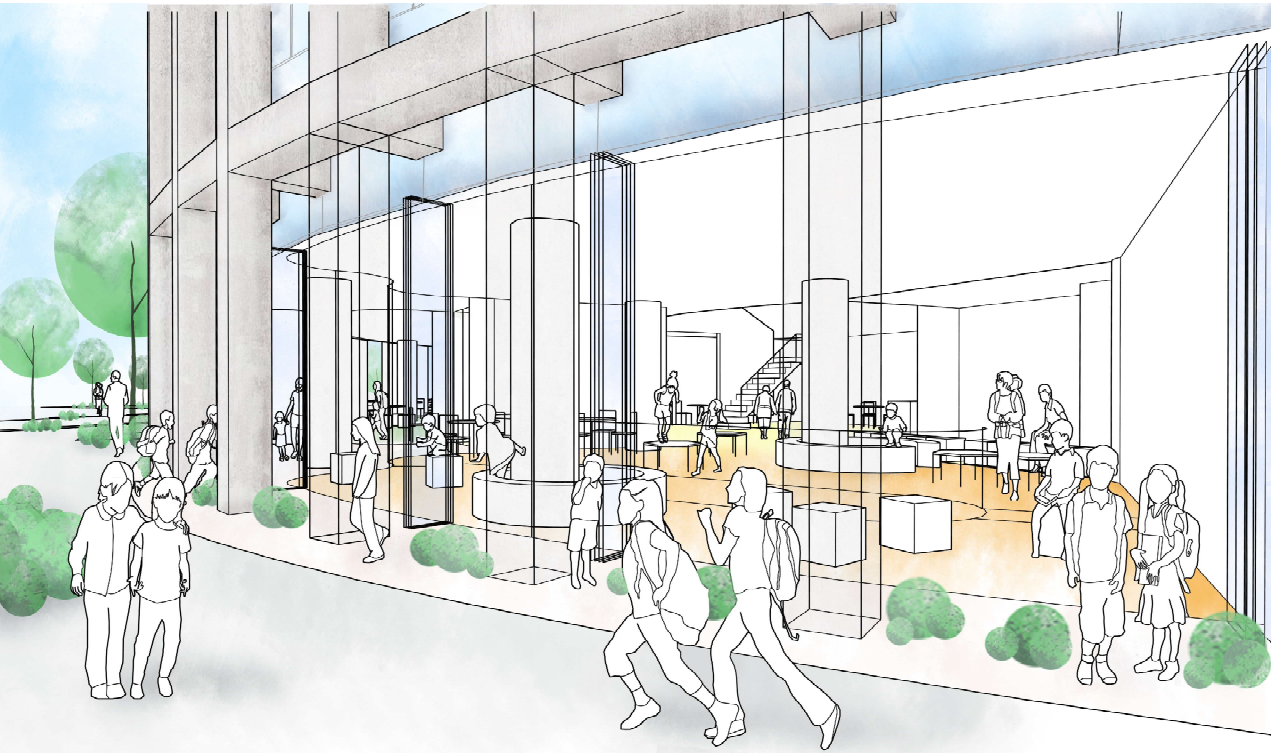
小学生、中学生、高校生、教育センター利用者、周辺公共施設利用者、近隣自治会を対象としたアンケート調査やワークショップを開催し、市民ニーズを把握しました。

コンセプト

出会いと交流でつながる
「みんなの居場所」
～こどもから大人まで誰もが集える交流の場～

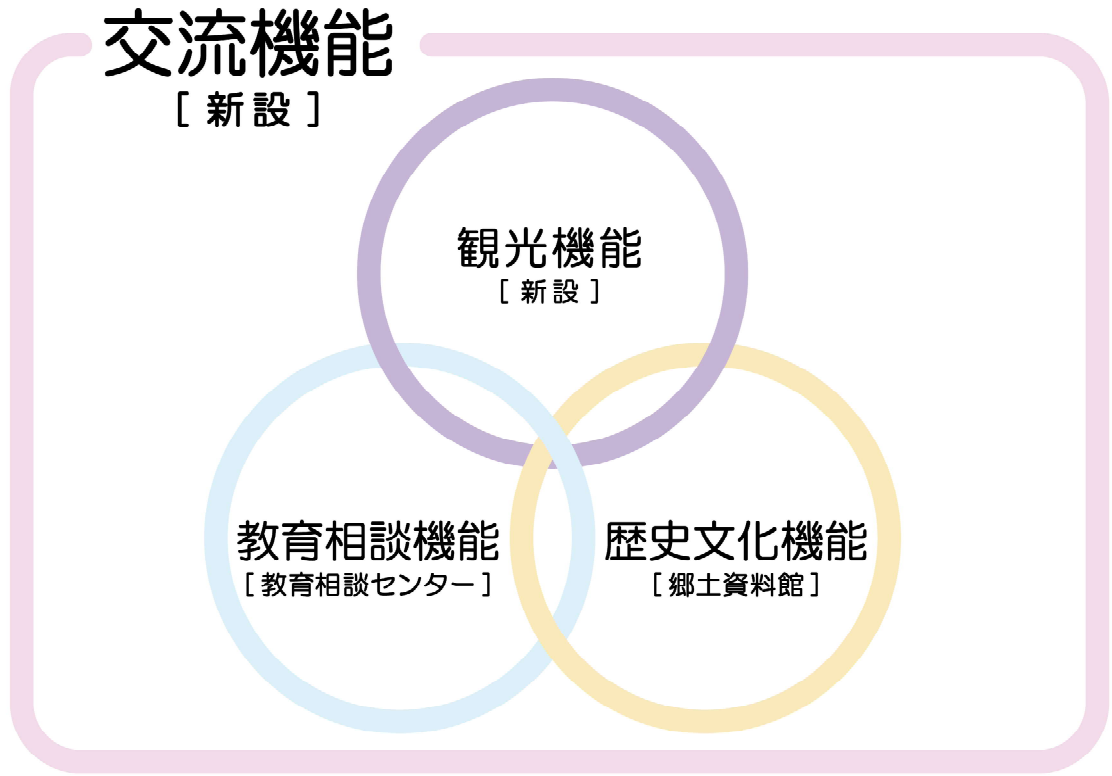
再整備の基本方針

- ① 誰もが気軽に訪れやすい交流の場
- ② こどもたちの居場所の創出
- ③ 誰にでもやさしいユニバーサルデザインの施設
- ④ 利用者の安心安全を守る施設
- ⑤ 快適で環境にやさしいサステナブルな施設



再整備後の名称と機能

名称 （仮称） かすかべひがし交流センター



「交流機能」を軸に、「観光機能」、「歴史文化機能」、「教育相談機能」の4つの機能を併せ持った複合交流施設とします。各機能がそれぞれの機能を活かしながら連携することで、相乗効果によりさらに大きな交流を創出し賑わう施設とすることを目指します。なお、視聴覚センターについては設置後35年が経過し、保有する視聴覚機器が老朽化していること、およびインターネット環境、通信機器の飛躍的發展と機器のパーソナル化など社会情勢の変化による市民ニーズが低下していることなどにより、当初の役割を終えたことから廃止します。

【交流機能】
こどもから大人まで多世代の方々が気軽に立ち寄り、相互交流や市民活動、情報発信の場として誰もが自由に使える場として整備します。また、ボランティアなど個人で活動する方を支援することで交流機能を促進します。

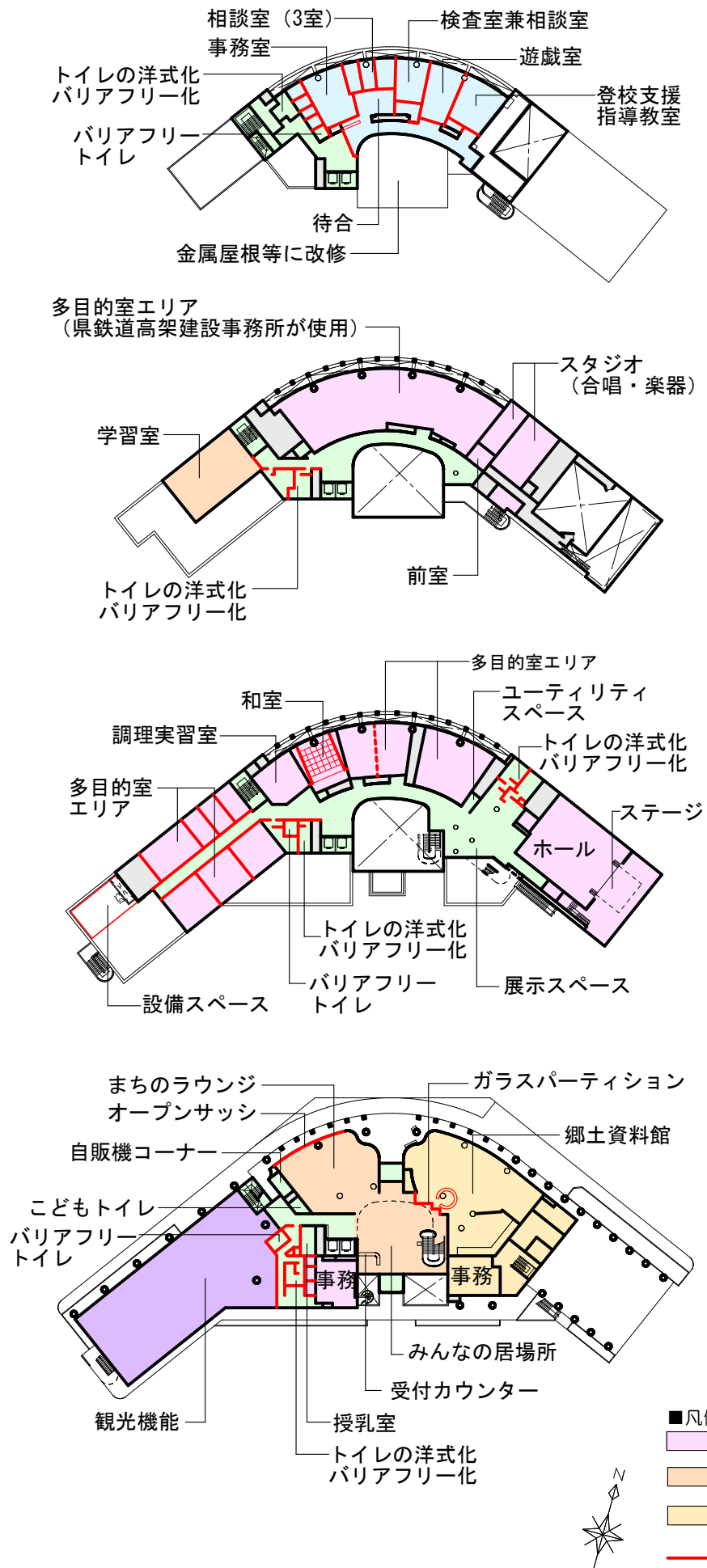
【歴史文化機能】
郷土春日部の歴史と文化を紹介する郷土資料館

【教育相談機能】
児童生徒、保護者など様々な悩みや問題について相談を受ける教育相談センター

【観光機能】
中心市街地にある施設として、春日部を舞台とした作品「クレヨンしんちゃん」を活用した観光機能を導入し、インバウンド需要や他施設との連携により賑わいを創出する予定です。

春日部市教育センター再整備基本計画の概要

レイアウト



4F 教育相談機能

- 教育相談センターは4階に単独で配置し、相談室、検査室兼相談室、遊戯室、登校支援指導教室、事務室を設けます。
- 相談者のプライバシーや権利に配慮するとともに、子どもが安心して快適に過ごすことができるよう整備します。

3F 交流機能

- 既存スタジオは合唱や楽器、ダンス等ができる防音スタジオとして整備します。
- 集中して勉強ができる学習室を整備します。
- 多目的室は春日部駅付近連続立体交差事業が終了するまでの間、県鉄道高架建設事務所が使用します。

2F 交流機能

- 講習会やサークル活動、各種講座の実施ができる多目的室、ホール、調理室、和室を整備します。
- 多目的室は大小さまざまな広さの部屋を整備し、多様な使い方に配慮します。
- ホールの音響、照明設備は利用者が使いやすいシンプルな設備に更新します。
- 調理実習室はカフェ風のキッチンや調理台を用意し、多様な使い方ができる室とします。

1F 交流機能
歴史文化機能
観光機能

- 1階中央部は多世代が気軽に立ち寄れる、みんなの居場所、まちのラウンジとして整備し、各施設の交流を促します。
- まちのラウンジ、郷土資料館の入口まわりは入りやすい床までの大きなガラスサッシへの改修を検討します。
- 県鉄道高架建設事務所は3階に移設し、当該箇所に観光機能を導入します。
- 授乳室や子どもトイレを新たに設置します。

■凡例

交流機能（貸施設）	観光機能
交流機能（オープンスペース）	教育相談機能
歴史文化機能	共用部
間取り変更箇所	可動間仕切り箇所

長寿命化・環境配慮工事

建築工事・機械設備・電気設備工事

- 劣化が見られる屋上は防水改修します。
- エントランスホールのガラス屋根は温熱環境に配慮した改修とします。
- 排煙窓、雨漏り箇所のサッシは、既存の枠を残し開閉部を取り換えます。
- トイレは洋式化、バリアフリー化を図るとともに、明るく快適なトイレに全面リニューアルします。
- 空調はガスによる中央方式から高効率な電気による個別方式へ変更します。
- 照明はLED照明に改修します。
- その他、受変電設備、配管、配線類を更新します。

概算事業費

概算事業費は約18億円（税込）を見込みます。
（工事監理費を含む）

※財源には、国の補助金である「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の活用を図ります。また、交付税措置のある地方債の活用を図ります。

整備手法

再整備の手法について、「春日部市PPP活用指針」に示される①従来方式、②DB方式、③DBO方式、④PFI方式の4手法を検討しました。

業務範囲	①従来方式	②DB方式	③DBO方式	④PFI方式
資金調達	公共	公共	公共	民間
設計	公共	民間	民間	
建設	公共			
維持管理	直営または民間	民間		
運営				

▶ 本施設へは①従来方式を導入します。

スケジュール

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
全体工程	基本計画 実施設計	発注 準備 10月着工予定	改修工事 全体工期 約1年半 2月末竣工予定	準備 リニューアル オープン

※工事中であっても、教育相談センター、県鉄道高架建設事務所は継続して業務ができる工事計画とします。
※視聴覚センターの施設貸出は、令和8年10月頃から中止となる予定です。
※郷土資料館は、令和8年10月頃から令和10年3月末まで休館となる予定です。

粕壁南公民館の機能移転

建築後43年が経過した旧耐震基準の施設で老朽化が進行していること、教育センターとの距離が近く、再整備後には諸室用途が重複すること、アンケート調査で教育センターと粕壁南公民館利用者の約7割の方から「公共施設は機能・役割の移転や集約、複合化をしていくべき」とのご意見をいただいたこと等から、粕壁南公民館は廃止するとともに、教育センター再整備後の施設では貸館機能などを有する施設としてリニューアルします。